

平成27年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業の概要

事業名	一般国道312号 おおみやみやま 大宮峰山道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：京都府京丹後市峰山町新町 至：京都府京丹後市大宮町森本	延長	5.0km		
事業概要	<p>山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市を起点とし、兵庫県豊岡市を経由して京都府宮津市に至る延長約120kmの地域高規格道路である。</p> <p>大宮峰山道路は、山陰近畿自動車道の一部として、京都府京丹後市大宮町森本から京丹後市峰山町新町に至る延長5.0kmの自動車専用道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>大宮峰山道路は、現在事業中の野田川大宮道路と連続し、丹後半島における大阪府から京都府丹後地域を結ぶネットワークの一部を形成。</p> <p>並行する国道312号の交通混雑や交通事故発生件数の低減に寄与するほか、丹後地域の沿岸の観光施設へのアクセス性向上による地域経済に寄与するものである。</p>				
全体事業費	約160億円	計画交通量	約10,000台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

【京都府知事】
一般国道312号大宮峰山道路は、日本海国土軸である山陰近畿自動車道の一部であり、本道路の整備により、本府と兵庫県、鳥取県との連携がさらに強まると期待しております。

また、京都府北部地域における観光・地域産業を支援するとともに、一般国道312号の交通渋滞を解消し、交通円滑化に寄与するなど、北部地域の発展には不可欠であり、重要な道路であります。

つきましては、一般国道312号大宮峰山道路を平成27年度の新規事業として予算化し、早期の事業完成をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。
・手続きの完了：都市計画手続き完了（平成11年4月当初、平成18年12月変更）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用：133億円 （事業費：110億円 維持管理費：24億円）	総便益：217億円 （走行時間短縮便益：169億円 走行経費減少便益：36億円 交通事故減少便益：11億円）	基準年：平成26年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4	(交通量 -10%)	B/C=1.9	(交通量 +10%)
		事業費変動	B/C=1.5	(事業費 +10%)	B/C=1.8	(事業費 -10%)
	事業期間変動	B/C=1.5	(事業期間 +20%)	B/C=1.7	(事業期間 -20%)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠		
		渋滞対策	◎	並行する国道312号の交通転換により旅行速度向上 三坂交差点～長岡大橋交差点 現況 14km/h → 整備後 35km/h (21km/h短縮)		
		事故対策	◎	並行する国道312号の交通事故が減少し、走行安全性が向上 死傷事故件数の変化 現況 32件/年 → 整備後 24件/年 (8件/年減少)		
	歩行空間	—	注目すべき影響はない			
	社会全体への影響	住民生活	◎	大宮峰山道路の利用により、救急搬送時間短縮 現況 45分 → 整備後 27分 (18分短縮)		
		地域経済	◎	山陰近畿自動車道が整備されると、日本海沿岸地域の観光資源を繋ぎ、周遊性が向上し、観光客の増加に寄与 〔天野橋立～城崎温泉の所要時間 現況 80分 → 整備後 (山陰近畿自動車道) 50分 (30分短縮)〕		
		災害	◎	日本海国土軸の形成により災害等に強い道路ネットワークを構築		
		環境	—	注目すべき影響はない		
	地域社会	○	京都府南部地域と日本海沿岸地域間における地域連携の強化が図られる。			
	事業実施環境	○	都市計画決定済み（平成11.4月当初、平成18.12月変更） 京都府知事より当該区間の直轄権限代行による新規事業化を要望			

採択の理由

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。

また、並行する国道312号の交通渋滞、多発する交通事故の解消・緩和が期待でき、観光資源を周遊するネットワークの形成等、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。